

総代会制度について

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に、会員一人ひとりの意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく、1人1票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することとなります。

しかし、当金庫では、会員数がたいへん多く、総会の開催は事実上不可能です。そこで、当金庫では、会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて「総代会制度」を採用しております。

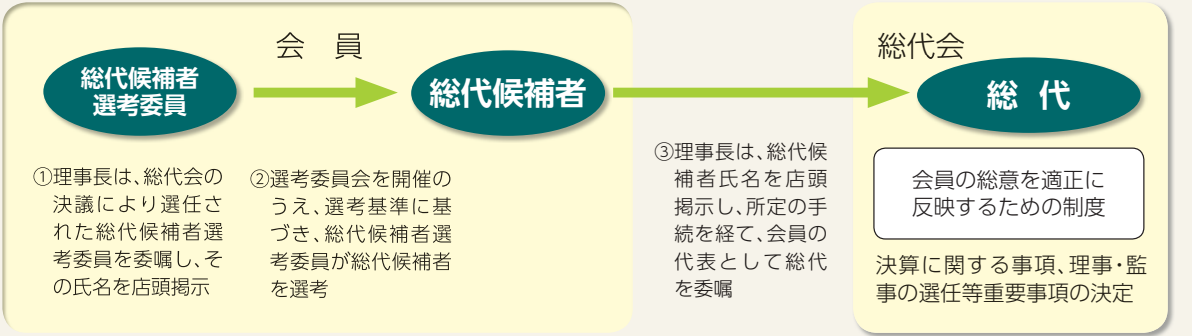
この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は、総会と同様に、会員一人ひとりの意見が当金庫の経営に反映されるよう、総代構成のバランス等に配慮し、選任区域ごとに総代候補者を選考する選考委員会を設け、会員の中から適正な手続により選任された総代により運営されます。

さらに、当金庫では、総代会に限定することなく、利用者満足度調査や総代懇談会を実施するなど日常の事業活動を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切にし、さまざまな経営改善に取り組んでおります。

なお、総代会の運営に関するご意見やご要望につきましては、お近くの営業店までお寄せください。

総代とその選任方法

総代会は、会員一人ひとりの意見を適正に反映するための開かれた制度です。



(1) 総代の任期・定数

- 総代の任期は3年です。
 - 総代の定数は、定款では90人以上190人以内と規定していますが、実際は総代選任規程に100名と定められています。また、選任区域ごとの総代数は、当該区域の会員数に応じて配分されています。
- なお、令和2年3月末現在の総代数は100人で、会員数は26,208人です。

(2) 総代の選任方法

- 総代は、会員の代表として、会員の総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っております。
- そこで総代の選考は、総代候補者選考基準に基づき、次の3つの手続を経て選任されます。
- ①総代会の決議により、会員の中から総代候補者選考委員を選任する。
 - ②選考委員会を開催のうえ、総代候補者選考委員が総代候補者を選考する。
 - ③上記②により選考された総代候補者を会員が信任する（異議があれば申し立てる）。

選任区別会員数と総代数 (人)

選任区	会員数			総代数
	法人	個人	合計	
1区	644	6,116	6,760	26
2区	280	3,306	3,586	14
3区	163	2,412	2,575	10
4区	254	2,850	3,104	12
5区	308	4,400	4,708	19
6区	306	3,813	4,119	15
7区	249	1,107	1,356	4
合計	2,204	24,004	26,208	100

年齢別総代数 (人)

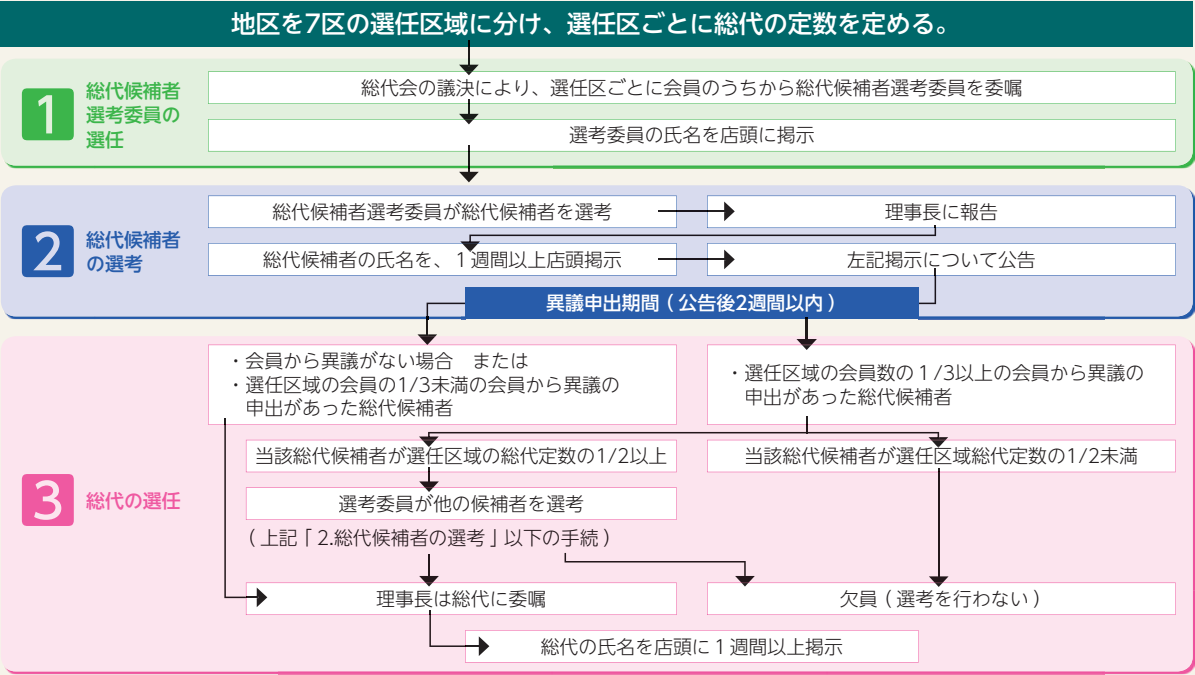
年齢	総代数
30歳未満	0
30～39歳	2
40～49歳	20
50～59歳	38
60～69歳	40
70歳以上	0
合計	100

(令和2年3月末現在)

総代候補者選考基準

- ①資格要件
- ・但馬信用金庫の会員である方
 - ・就任時点で満70歳を超えない方
- ②適格要件
- ・総代として相応しい見識を有している方
 - ・良識をもって正しい判断ができる方
 - ・一般会員や預金者等からの信望が厚く、総代として責任感の強い方
 - ・人格、識見に秀れ、当金庫の発展に寄与できる方
 - ・金庫の理念、使命をよく理解し、金庫との正常な取引関係を有する方

総代が選任されるまでの手続きについて



第72回通常総代会の決議事項について

令和2年6月17日開催の第72回通常総代会において、次の事項が付議され、それぞれ原案のとおり承認されました。

- ①報告事項 第71期(令和元年度)業務報告、貸借対照表、及び損益計算書の報告の件
- ②決議事項 第1号議案 剰余金処分案の承認の件 第4号議案 会員の法定脱退(除名)の承認の件
- 第2号議案 定款の変更の承認の件 第5号議案 理事の任期満了に伴う選任の件
- 第3号議案 総代候補者選考委員の選任(補選)の件 第6号議案 退任理事に対する退職慰労金贈呈の件

総代の氏名等

(任期 令和元年11月14日～令和4年11月13日)
(50音順、敬称略)

選任区	地 区	総代数	氏 名
第1区	兵庫県豊岡市(除 旧豊岡市港地区、豊岡市日高町・城崎町・竹野町・出石町・但東町)、京都府京丹後市	26名	池内 資倫① 生駒 敬一⑦ 井戸 督⑤ 浮田 昌宏⑤ 卯野 隆也⑦ 遠藤玄一郎⑤
			岡本 慎二② 小倉 努③ 長田 通明⑤ 小田 忠之② 衣川 英生⑧ 木和田智成⑥
			小西 晴久② 斉藤 彰⑥ 鈴木 政宏③ 竹中 宗明③ 津山 貴義⑥ 豊嶋 肇⑥
			箱石 孝史⑤ 服部 清隆④ 早川 薫③ 平野 慎二② 平林 卓也② 山崎 俊幸①
			由利昇三郎⑤ 吉田宗一郎⑦
第2区	兵庫県豊岡市日高町・城崎町(含 旧豊岡市港地区)・竹野町	14名	飯田 高治③ 太田 義人② 大田垣修二② 垣谷 託司⑤ 北見 龍彦③ 柴田 誠③
			新免 勝⑤ 田岡 浩典① 田中 律也② 谷本 貴③ 西松 伸二③ 長谷川冬彦①
			樋口 雅基④ 與田 久治⑤
第3区	兵庫県豊岡市出石町・但東町	10名	榮木 健二③ 川崎 祐紀① 川見 敏之① 齊藤 文昭⑨ 田中藤一郎④ 谷垣洋一郎②
			永井 秀和① 中村 博信② 西垣 源正⑨ 福田 嗣久⑦
第4区	兵庫県美方郡(新温泉町、香美町)	12名	朝倉 富征④ 石井 康裕③ 岩田 隆③ 株本 高志④ 藏野 恵三② 小林 忠則⑤
			田丸 明人① 田村 昌士② 中井 功③ 橋本 勝由⑥ 丸上 宗慈③ 安田 優二⑤
第5区	兵庫県養父市	19名	太田垣好孝④ 岡 清勝③ 片岡 篤宏⑦ 角野 昭男② 川口 秀昭③ 日下部昇吾⑨
			才木健三郎⑤ 正垣 雅浩② 谷 孝之輔② 田村 敏胤⑤ 中尾 新⑤ 中島 良顕⑦
			中野 雅人⑤ 西村 正司③ 平山 敏明③ 福田 和起⑦ 藤田 達雄⑦ 村上 進一③
			八木 敏之④
第6区	兵庫県朝来市、京都府福知山市	15名	今石 博行② 江草 長史⑤ 笠谷 治⑦ 北村 篤③ 衣川 浩二⑤ 小林 忠男②
			下村 和彦④ 富田 秀幸② 豊田 活廣④ 永田 義典③ 藤井 啓⑧ 藤岡 良彦④
			藤原 新吾⑦ 細見 英作⑥ 細見 守⑦
第7区	兵庫県姫路市(但し、旧姫路市、旧神崎郡香寺町、旧飾磨郡夢前町に限る)・神崎郡・高砂市・加古川市・揖保郡太子町	4名	井上 賢治② 片山 仁③ 永濱 恵悟③ 藤岡 昌平①
			合 計 100名

※氏名の後の数字は総代への就任回数(令和2年3月31日現在)

総代の属性別構成比

職業別	法人代表者84%、個人事業主16%
業種別	卸・小売業23%、建設業17%、サービス業17%、製造業17%、個人事業主13%、その他13%

※業種別の構成比は、法人・法人代表者、個人事業主に限る。(令和2年3月31日現在)